

TERADATA ANALYTICS FOR SAP® SOLUTIONS

TERADATA

機敏なビジネスの遂行

データ容量が増大し、より多くの種類のトランザクション・データが利用可能になるにつれて、機敏にビジネスを遂行するためには、情報を素早く統合し、ニア・リアルタイムに分析することが重要となっています。

SAP® ERP ソリューションは広く利用されていますが、そのデータの利用には複雑な手順が必要であり、大きな課題となっています。SAP ERP ソリューションにより、確実に業務プロセスの実行を管理することができますが、その一方で、複数のモジュールにまたがって情報が生成されるため、その情報にアクセスし、統合し、また分析することを難しくしています。

テラデータは、企業横断で統合されたデータに対する即時的なアクセスと分析を通じてのみ、効果的なビジネス上の決定をくだすことができると考えています。そこで必要となるのは、企業規模で SAP のデータを迅速に統合して一元管理し、実務的なビジネス分析を実現するソリューションです。

複数のSAP ERP、および非ERPソースのデータ統合

Teradata® Analytics for SAP Solutions は、SAP® ERP として知られる SAP® ERP Central Component (ECC) のデータを分析するために設計されています。このソリューションは、SAP 独自の業務モデルおよびプロセスを活用し、1つの SAP ERP 内、複数の SAP ERP 間、および非 SAP ソース・システムからのデータを機能横断的に統合します。

このソリューションは、全体設計、ELT プロセス、統合データ・モデル、そして 150 種類以上のダッシュボードとレポートから構成されており、導入すれば、追加設定なしですぐに利用することが可能です。

ニア・リアルタイムのデータ複製手法と広く使われているバッチ・プロセス用 ELT ツールを活用し、1つまたは複数の SAP ERP からのトランザクション・レベルのデータの抽出、正しいフォーマットへのデータの準備、準備したデータの Teradata データベースへのロードを行ないます。

Teradata にロードされたデータは、拡張可能なエンタープライズ・モデルに統合されます。このモデルは、レポートやアドホック分析を介して機敏な業務遂行を実現するための基盤となります。

ビジネス部門および IT 部門にとっての利点

Teradata Analytics for SAP Solutions は、SAP ERP のデータを Teradata データベースに統合することを容易にし、レポートや情報分析を促進します。

あらかじめ構築されたコンポーネントを採用することで、迅速な導入が実現でき、分析を開始するまでの時間を短縮することができます。

— SAP ERP からの容易なデータ抽出

SAP ERP システムへの負荷を最小限に抑えつつ、複数の SAP ERP から容易にデータを抽出し、統合データベースに格納することが可能です。ツールを利用するため、新規に抽出プログラムを開発する場合と比較して、高い生産性を維持できます。

— ニア・リアルタイム連携

データ・レプリケーション機能により、SAP ERP システムからニア・リアルタイムで連続的にデータを抽出することができます。

— SAP ERP データと非 SAP ERP データの統合

SAP データだけでなく、非 SAP ERP データの統合も可能です。全社統合を目指したデータ管理や分析基盤の環境構築の工程を早めることができます。

— SAP のモジュールに合わせた導入が可能

利用中の SAP のモジュールに合わせて、Teradata Analytics for SAP Solutions の 18 種類のモジュールから選択できるため、データ統合ステップに合わせた段階的な導入が可能です。

— 標準的なレポートを用意

Business Objects 向けの標準的なレポートを用意していますので、一気にレポート作成まで可能です。

Teradata Analytics for SAP Solutions は、従来とは異なる方法で SAP ERP データを活用する際の複雑さを解消し、企業における機敏なビジネス・インテリジェンスを支援します。

TERADATA

事前構築済みのコンポーネントを使い、短期導入を実現

取得

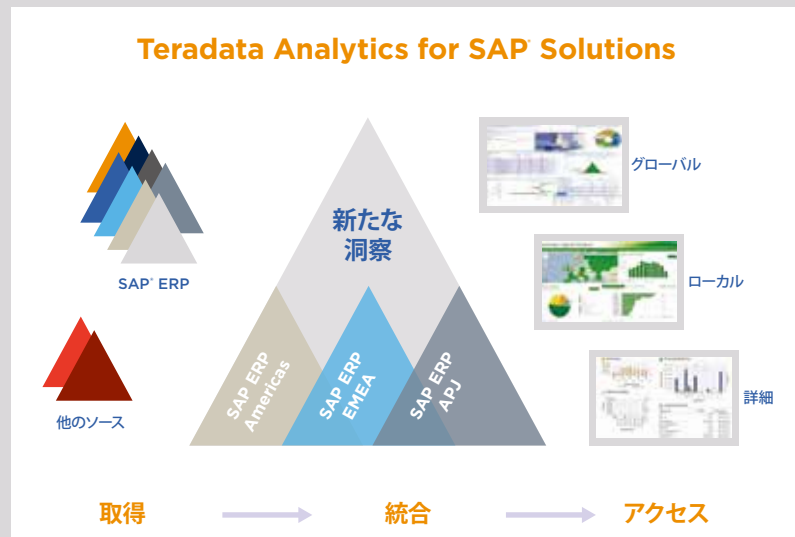
事前構築済みのELTコネクタ、ワークフロー、データ・モデルを使用することで、Teradata Analytics for SAP Solutionsは、Teradata IDW内に統合するデータを1つまたは複数のSAP ERPおよび他の非SAPソースから迅速に取得します。

統合

統合レイヤに格納されたニア・リアルタイムのデータにより、業務を横断的に俯瞰することが可能となります。データは最小の粒度で格納されます。この詳細なトランザクション・レベルのデータにより、詳細な運用レポートを作成したり、集約された測定値やKPIを示すダッシュボードを生成するなどの柔軟性が得られます。

アクセス

アクセス・レイヤにはビュー、キューブ、次元が含まれ、ユーザが定型レポートを実行したり、アドホック分析を行うことが可能です。お客様がお使いのBIレポート・ツールや分析ツールをお使いいただくことも可能です。



基本モジュール

Teradata Analytics for SAP Solutions の基本モジュールでは、最も重要なロジックと構造、モジュール間で共有されるマスター・データの抽出機能が提供されます。

業務モジュール

基本モジュールを実装すれば、分析要件に応じて業務モジュールを段階的に追加することが可能です。機能横断型のビジネス分析を実現する、18種類のモジュールが提供されています。

財務

- Financial Accounting (FA：財務会計)
- Cost Control (CC：原価管理)
- Profit Center Accounting (PCA：利益センタ会計)
- Accounts Payable (AP：債務管理)
- Accounts Receivable (AR：債権管理)
- Asset Management (AM：固定資産管理)

販売、ロジスティクス、収益性分析

- Sales Order Handling and Distribution (SD：販売管理)
- Revenue Analysis (RA：収益分析)
- Purchasing management (PU：購買管理)
- Inventory Management (IV：在庫管理)
- Controlling Profitability Analysis (COPA：収益性分析)

製造および運用

- Quality Management (QM：品質管理)
- Plant Management (PM：プラント保全)
- Project Control (PC：プロジェクト管理)
- Production Planning (PP：生産計画)

人事

- Human Resources Management (HR：人事管理)
- Cross Application Time Sheet Analysis (CA：クロスアプリケーション・タイムシート分析)

データ

- Master Data Quality Reporting (MDQR：マスター・データ品質レポート)

新しい Data Replication (データ複製) モジュールにより、ERP データの運用が可能となり、ニア・リアルタイムの分析が実現します。

各種 BI ツールから柔軟にアクセス可能

各モジュールに、Business Objects 向けのダッシュボード、アラート、レポートを用意しています。これに加えて、お使いの BI ツールからあらかじめ用意されたビューにアクセスすることにより、お客様独自のレポートを作成することが可能です。

日本テラデータ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズ フロントタワー

テラデータ製品に関する情報やお問い合わせは
<http://www.teradata.jp>

・Teradata Analytics for SAP Solutions, Teradata, Teradata ロゴは、Teradata Corporationの登録商標です。本文中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。・本文中に記載されている製品情報は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。・このカタログの記載情報は、2015年2月現在のものです。・このカタログで使用されている製品の写実は、出荷時のものと一部異なる場合があります。